

平成24年度第2回北海道ブロック協議会
第3回北海道代協理事会
議 事 録

平成24年7月20日(金) 13:00~17:00

於:センチュリーロイヤルホテル

出席者

日本代協理事	木内 彰		理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	通岩 稔	釧路
日本代協理事	山口 史朗	札幌	理事	坂本 信一	旭川	監事	木下 裕章	小樽
会長	山崎 善仁	札幌	理事	山本 仁	旭川	監事	本村 宏文	千歳
副会長	羽山 和広	帯広	理事	高橋 章哲	旭川		寺本 朋史	札幌
副会長	松浦 則雄	函館	理事	鈴木 雅裕	小樽		見上 峰夫	札幌
副会長	寺田 賢	旭川	理事	佐藤 聖	苫小牧		町野 泰明	札幌
専務理事	赤山 登	札幌	理事	小野 修	函館		嶋田 拓馬	札幌
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	大橋 敏	函館		梅基 伸男	札幌
理事	伊藤 隆人	札幌	理事	濱中 公也	函館	事務局	藤田 和代	
理事	田中 幹	札幌	理事	吉田 和彦	釧路			

(オブザーバー参加者 1名)

- ・平 信二

司会 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(羽山和広)

2. 北海道代協会長挨拶(山崎善仁)

役員人事改選において会長就任にあたり、前山口史朗会長が掲げ進めてきた「行動する北海道代協」を引き継ぎ、皆様全員の力をお借りして前進していきたい所存でありますので、ご協力何卒よろしくお願い申し上げます。

3. 日本代協常任理事挨拶(木内彰・山口史朗)

木内彰—岡部日本代協会長の下、今年度の最重要取組み事項として<画一的チャネル区分にとらわれることなく会員拡大、組織強化をしていく>方針であります。山口前会長が組織委員長となり、ぜひ北海道代協が全国の牽引力となっていきたいと思います。

山口史朗—会長就任中の二年間についてのお力添え誠に感謝いたします。組織内での役職は変わりますが、今までの考え方については一切変わってございませんので、北海道代協、日本代協をより良くするため尽力したいと思います。

4. 倫理綱領の朗読(吉田和彦)

5. 議長選出

議長には松浦副会長(函館)が指名され、承認を得た。

6. 議事録署名人の選出

議事録作成者:富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に田中幹(札幌)、伊藤隆人(札幌)各氏が指名され了承を得た。

7. 議 事

[I] 報告事項



(1) 日本代協理事会報告

<木内彰>

- 1、6月理事会で日本代協役員新体制の選出と決定がなされた。
- 2、平成24年度の各委員会への諮問・推進事項は資料P19のとおり。
- 3、代理店賠償の引受保険会社がアリアンツよりエースへ変更(内容改善)。
- 4、日本代協の公益法人化は現状にては厳しく、一般社団法人として一旦登録後、公益への変更に取り組む。

<山口史朗>

- 1、今年度のコンベンションは11月16・17にヤクルトホールでの開催が決定された。
- 2、金融庁ワーキンググループへ日本代協として荻野名誉会長が出席し、・代理店への監督強化 ・代理店統合問題 ・募集文書の省略簡易化 等が話された。
- 3、日本代協へ郵政省担当部長よりの自動車保険取扱状況が報告され、現在取扱局は701局で8月には1200局の予定ではあるが、一般消費者への外売りはほとんどされていない現状で急激な変化はなさそうとのこと。今後はがん保険、住宅ローン等を取り扱っていきたい旨が報告された。
- 4、損保8社との懇談会にて代協会員増強への協力依頼がされた。

(2) 日本代協総会・全国会長会議報告(山崎善仁)

上記理事会報告と重なるものは省略。

6月19日に総会が開催、役員改選があり、高梨氏が副会長、山口氏が組織委員長への新就任となった。全国47都道府県のうち新会長は22名おり、私を含めオリエンテーションに出席してきた。

(3) 日本代協委員会報告

I、組織委員会（伊藤隆人）

組織委員会は来週開催のため、次回詳細報告いたします。

II、教育委員会（山崎善仁）

損害保険大学課程への認定移行処理が現在実施されている（会議資料P 17・18参照）が、複雑難解なため、各支部単位でのセミナーをP 16のとおり実施いたします。帯広、旭川も依頼があれば行くようにしますので検討いただきたい。

III、広報委員会（嶋田拓馬）

広報委員会は来週開催。

IV、企画環境委員会（吉田和彦）

7月18日に第1回委員会が開催され、会議資料P 19の4事項に取り組んで行くことを確認する。代理店賠償引受社変更により8月末頃にエース社より加入者へ更改案内が届く予定。

V、CSR委員会（山本仁）

委員会は7月27日開催出席予定。

VI、政連（梅基伸男）

従来からの北海道の最大の問題点である会費の未納繰越額が前年度も大きく、早急に各支部へ納入依頼を配布しますのでご協力お願いしたい。

(4) 各支部活動報告

各支部の活動については会議資料P 13・14・15 参照

(特筆・変更点は以下のとおり)

- ・札幌支部—《ホームドクター》誌西区・手稲区版、中央区版へ広告掲載
- ・函館支部—道新夕刊別冊に広告掲載

(5) 各委員会活動報告

各委員会の活動状況につき各委員長より口頭簡易報告がされる。

* 広報委員会委員長より、会議開催時の欠席および代理出席者の事前報告と各委員会議事録作成の励行が指摘・依頼される。

[II] 審議事項

(1) 一般会員会費について(山崎善仁)

<山口史朗>まずは、一般会員会費額変更についての総会での決議・承認を失念していた事に対し、深くお詫び申し上げます。

<山崎善仁>一般会員会費額 5,000 円への変更については 23 年度第 4 回理事会で承認されましたが、総会での承認がなされていなかったことに対し、実態上それだけのための総会再開は不可能であるため、今年度はみなし規定での進行とさせたい。

* 議長採択をとり**承認可決**

(2) 会員増強・国民年金基金(伊藤隆人)

会議資料 P 7 のとおり今年度の北海道新規入会目標店数は 64 店の設定となっておりますが、各支部会議にて支部目標達成のための具体的実施策を検討し 8 月末までに事務局宛報告をしていただきたい。また、国民年金基金は昨年度 7 年ぶりの新規加入が 3 件あったが、今年度も引続き各支部 1 件（北海道で 9 件）の新規加入目標が設定される予定なので、前記同様の報告を願いたい。

* 議長採択をとり**承認可決**

(3) 損害保険大学課程 (山崎善仁)

本件は会議資料 P 17・18 を参照し、山崎会長より現在の資格移行スケジュールと進行状況について詳細説明がなされた。それをふまえ、各支部にて認定保険代理士資格を現在持っていない専業代理店会員に対するトータルプランナー資格受験推進の取組みを強化していく提案がなされる。

* 議長採択をとり**承認可決**

(4) あるべきかたち検討委員会について(山崎善仁)

(5) 日本代協の各委員会への諮問事項について (山崎善仁)

(4) (5) につき、一括で山崎会長より本日午前中開催した [連絡会] での検討事項と合わせ説明がある。当会への具体的提案事項は以下のとおり。

i) 日本代協より持ち帰った諮問・推進事項につき北海道の各委員会・各支部の両輪でスムーズに検討・実施していくためにも、副会長の担当制を明確にし、会長の補佐をする。

<委員会担当>

企画環境—松浦副会長、組織—寺田副会長、教育—佐々木副会長、広報—羽山副会長、事業—山吉副会長

<地域支部担当>

札幌・千歳・小樽—佐々木副会長、函館・室蘭・苫小牧—松浦副会長、旭川—寺田副会長、帯広—羽山副会長、釧路—山吉副会長

ii) 日本代協委員会との整合性を図る為、CSR委員会の設立を踏まえ今期は広報委員会が担当、委嘱を受ける。

iii) [あるべきかたち検討委員会] への審議依頼事項

* 議長採択をとり i)、ii) については承認可決

* iii) につきある場合は事務局まで報告をすることに決定。

(6) 顧問委嘱について (山崎善仁)

・ 今回の日本代協総会にて副会長に就任された高梨重勝氏に北海道代協として顧問委嘱をお願いしたい旨の提案

・ 日本代協表彰者の候補として、3期理事を務められた前副会長の長尾忠正氏（釧路）を北海道として推薦したい旨の提案

* 議長採択をとり上記2提案とも承認可決

(7) 代協会員経営支援策 (赤山登)

会員経営支援策として1) ハウスデポパートナーズ社住宅ローン取次店ビジネス（会議資料P 22・23）と2) JCMマイカー買取、下取りサービス（会議資料P 24）が紹介され、北海道代協としての取組みについて協議検討してもらいたい旨の提案がされた。

* 出席者の協議および議長取りまとめにて、1) については窓口を事業委員会とし早急に会員向け説明会の実施等に向けハウスデポ社と打合せをする。2) については他地区代協の推進状況を見たうえで再度検討する。以上にて承認可決

(8) その他

・ 羽山和広氏（帯広）より、6月8日の総会・理事会での新役員就任特に会長交代につき今回は事前に知らされていなかったが、それに対する皆さまの意見をこの場で訊きたい。

ここで、山口前会長から理事選考委員会設立から新役員決定までの詳細が説明される。

（今回の人事は自分としても会長職を続投するつもりでいたが、日本代協常任理事への就任依頼との絡みでこうなったもの。正式な手順を経た役員人事ですが、支部関係者へは事前に状況を説明していなかったことに関しては反省点もある。）

・ 理事選考については問題ないが、仮にも北海道代協のトップである会長職変更の場合

は事前通達があるべきではないかとの意見がでる。

・今後の役職選考（特に会長職選定）については〔あるべきかたち委員会〕で再度検討すべきではとの意見もでる。

*議長採択をとり〔あるべきかたち検討委員会〕に委嘱することで、承認可決

〔Ⅲ〕 その他

○山崎会長より北海道代協事務局員の休暇連絡および不在時の対応策連絡がされた。

・8月6日～10日と20日～24日はPM1時よりPM4時まで会員が交代にて事務局留守番をする。

・8月13日～17日はお盆休みとする。

*不在時は留守電対応をしておく。

8. 監事講評(本村宏文)

先だって発生した大津市中学生いじめ自殺事件においては、学校・教育委員会側の対応をみていると自分達の組織防衛が見え隠れしており、甚だ悲しく憤りを感じます。北海道代協においても、団体という外郭の維持のみにとられることなく会員それぞれが良化・維持していけるような活動を中心に据え、その結果組織も強化されていくべきと考えます。

9. 閉会の辞(寺田賢)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 田 中 幹

議事録署名人 伊 藤 隆 人